

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	所沢市役所		代表者名	課長 井上 大樹	
担当者部署	経営企画部デジタル戦略課		連絡先電話番号	04-2998-9036	
担当者役職	主任	担当者氏名	大場 芳恵	連絡先E-mail	*****
住所	359-8501 埼玉県所沢市並木1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none"> 当市の課題や意図を丁寧に汲み取って、具体的な研修内容の提案をしてくれた。 これまでに他自治体でやったことがない（先生の中で前例がない）研修構成であるにもかかわらず、当市がやりたいこと（グループごとの発表）を研修構成に組み込んでくれた。 お人柄がよく、相談しやすい雰囲気を作ってくれた。 				
アドバイザーへの要望事項					

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年5月19日	事前打合せ(オンライン)	有	令和5年5月17日	642
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年5月19日	事前打合せ（オンライン）	10時30分	11時30分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	当市の研修意図を受講者に伝えるための、具体的な研修構成が決まらなかった	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	受講者がDXの必要性を肌身に感じ、DXの考え方を体験できる研修構成を決める	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> 受講者に不平不満を言わせる時間を作る 研修時間に限りがあるので、DXの考え方を体験するためのワークは欲張らない 発表テーマを2つに絞り、偏りがないように取り組み発表してもらうことで、同じテーマでもバックカスティングによる検討の方向性の違いなどを実際に見ることができ、考え方の幅や視野が広がる 	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	当市の研修意図を受講者に伝えるための、具体的な研修構成が決まった	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	受講者がDXの必要性を肌身に感じ、DXの考え方を体験できる研修を実施する	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

